

Introduction of **Keya**TM

Xeya (ゼヤ) は「シャタバリン (ステロイドサポニン)」を15%以上で規格化したシャタバリエキス末です。シャタバリンは、複数のホルモン受容体 (エストロゲン β 、FSH/黄体形成ホルモン、LH/卵胞刺激ホルモン等) に作用することでホルモンバランスを調整する効果が確認させています。

シャタバリはインドやアフリカに自生するクサスギカズラ (アスパラガス) 属の植物で、“シャタバリ”という名称には、サンスクリット語で「**100人の夫 (または子ども) を持つ女性**」という意味があります。

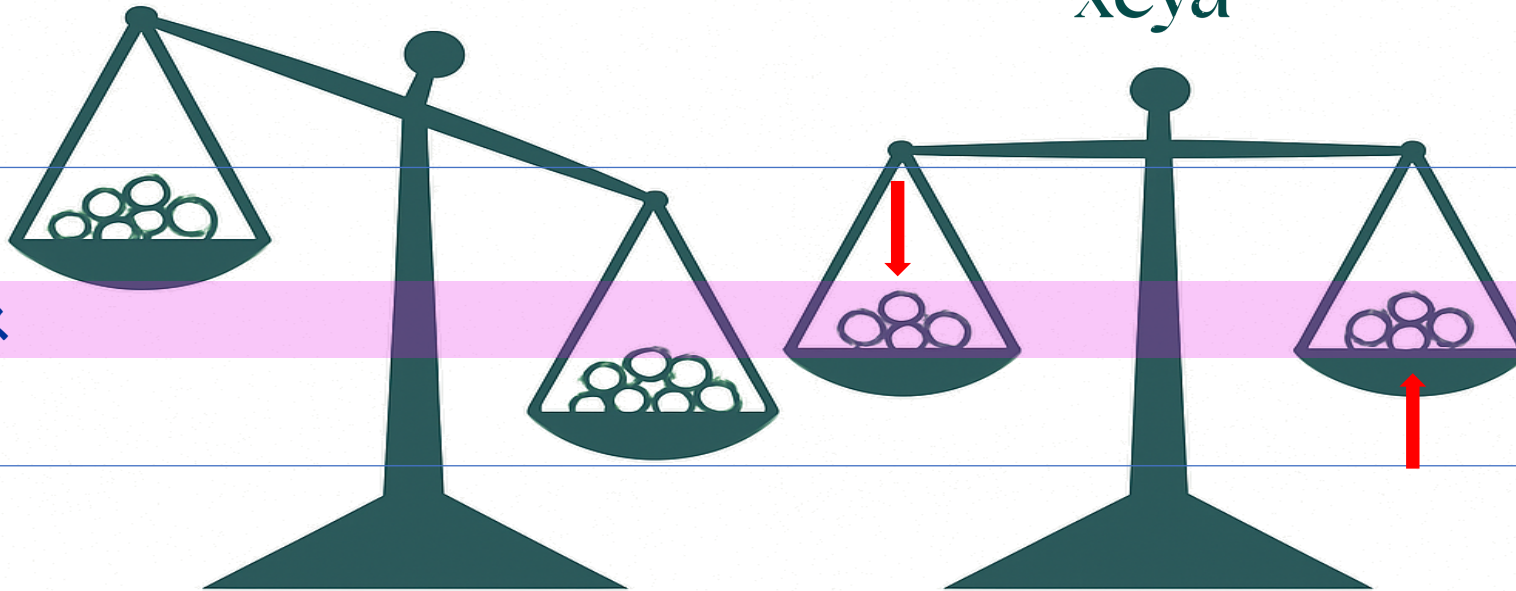
A promotional graphic for Xeya. On the left, the word "Xeya" is written in a large, dark green, serif font. Below it, the tagline "Modern Shoots. Traditional Roots." is written in a smaller, dark green, sans-serif font. On the right, there is a photograph of several dried, light-brown, root-like tubers. The background is a light teal color with a faint, stylized floral pattern. In the bottom left corner, the "Xeya" logo is repeated in a smaller font. In the bottom right corner, the "NXTUSA" logo is visible, featuring a colorful 'X' symbol.

Xeya（ゼヤ）はホルモンバランスを調整し、恒常性を中庸に**“整える”**効果があります。

- 閉経期などエストロゲンレベルが低下している状況では、パーシャルアゴニスト（作動剤）として、受容体を活性化することで、エストロゲンを刺激します。
- 逆に、エストロゲンが過剰に分泌される場合は、パーシャルアンタゴニスト（拮抗剤）として、エストロゲン受容体を（エストロゲンの結合から）ブロックすることで、エストロゲンレベルを抑えます。

xeya™

最適なバランス



(参考) 更年期障害評価尺度 (Menopause Rating Scale : MRS) とは？

※更年期障害評価尺度 (MRS) は、閉経前後および閉経後の女性における症状負担の臨床的・研究ベースの定量化を可能とする。本尺度には11の自己報告項目が含まれ、各項目は6段階のリッカート式尺度で評価される。0は症状の欠如を示し、5は非常に重度の症状強度を表す。累積MRSスコアは0～55の範囲で、高スコアほど全体的な症状重症度が高い。

身体感覚サブスケール

- ・ほてり、発汗 (発汗発作)
- ・心臓の不快感 (心拍の異常な自覚、心臓が飛ぶ、ドキドキする、胸が締め付けられる感じ)
- ・睡眠障害 (寝つきが悪い、夜通し眠れない、早朝覚醒)
- ・関節や筋肉の不快感 (関節痛、リウマチ様症状)

心理的サブスケール

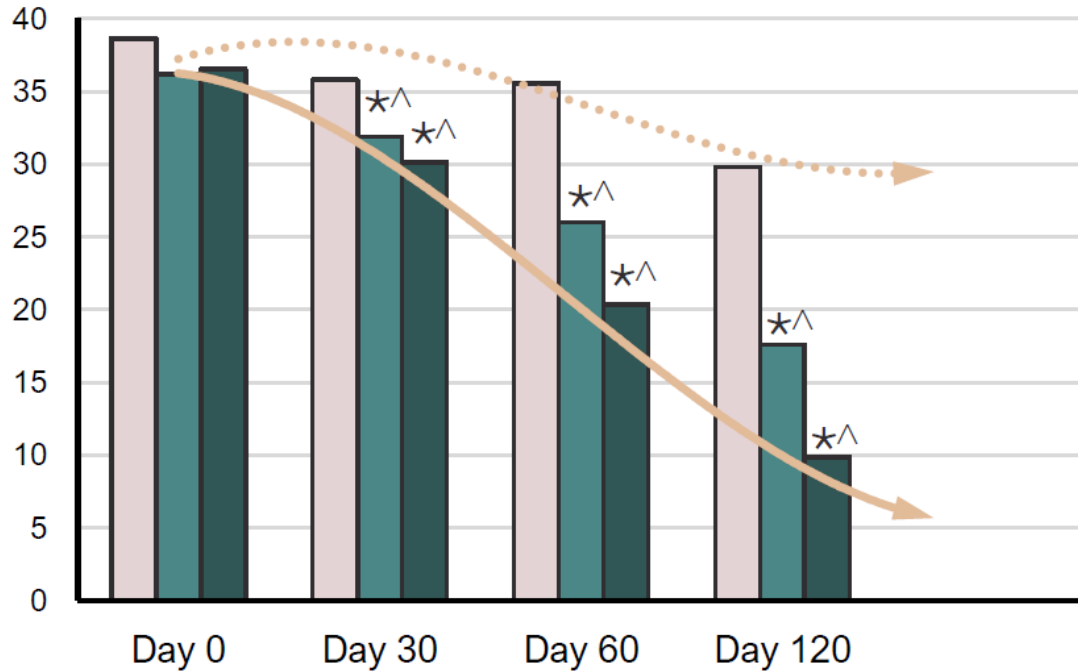
- ・抑うつ気分 (気分が落ち込む、悲しい、涙が出そうになる、やる気がない、気分のむら)
- ・イライラ (神経質になる、内面が緊張する、攻撃的になる)
- ・不安 (内面の落ち着きのなさ、パニックになる)
- ・心身の疲労 (全般的なパフォーマンスの低下、記憶力の低下、集中力の低下、物忘れ)

泌尿生殖器サブスケール

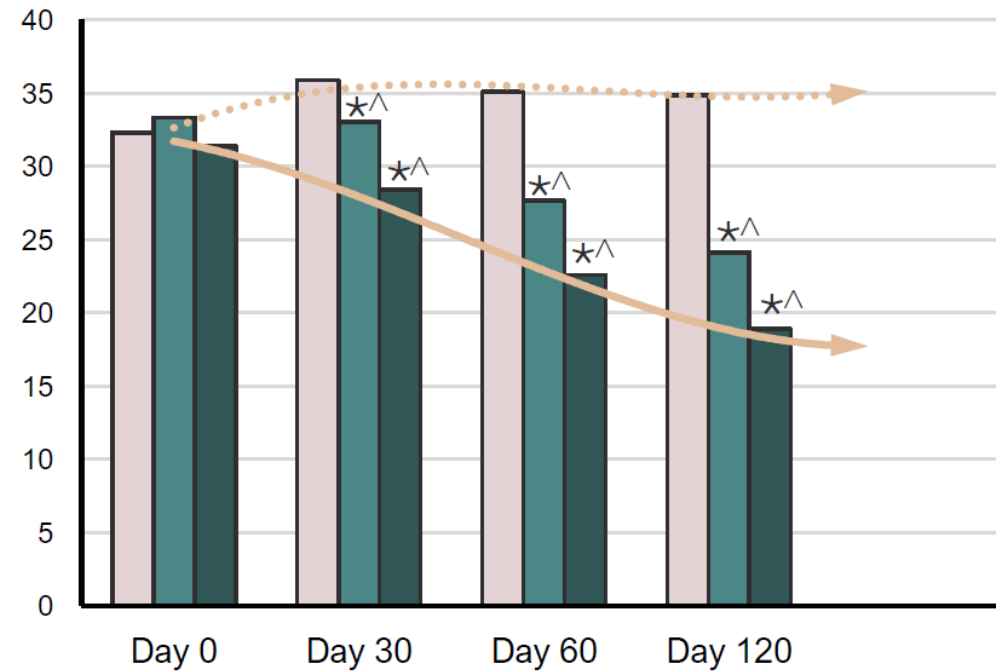
- ・性的な問題 (性欲、性行為、満足度の変化)
- ・膀胱の問題 (排尿困難、頻尿、膀胱失禁)
- ・膣の乾燥 (膣の乾燥感または灼熱感、性交困難)

40-50歳の閉経前後の女性を対象に120日間のヒト臨床試験を3群（n=75, プラセボ群・Xeya 50mg群・同100mg群）で実施しています。①更年期障害評価尺度（MRS）、②ホットフラッシュ週間加重スコア、で摂取後30日後に50mg摂取群・100mg摂取群ともに有意差が確認されており、120日後には**MRSがそれぞれベースライン比較で50mg群で51.42%、100mg群で72.95%、改善されています。**

① 更年期障害評価尺度（MRS）



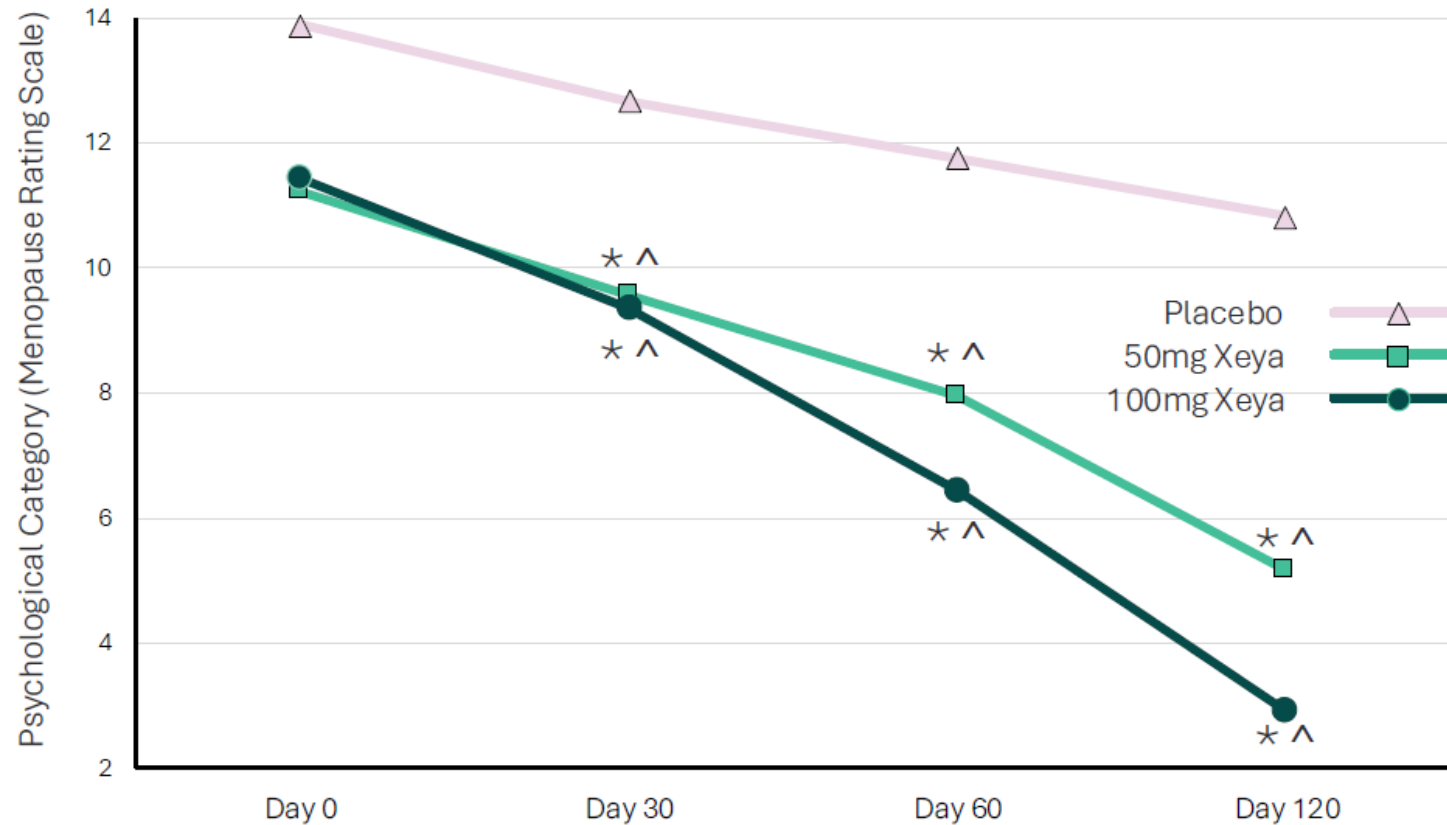
② ホットフラッシュ週間加重スコア(HFWWS)



Placebo
 Xeya 50mg
 Xeya 100mg
 *p<0.05 vs placebo ^p<0.05 vs baseline

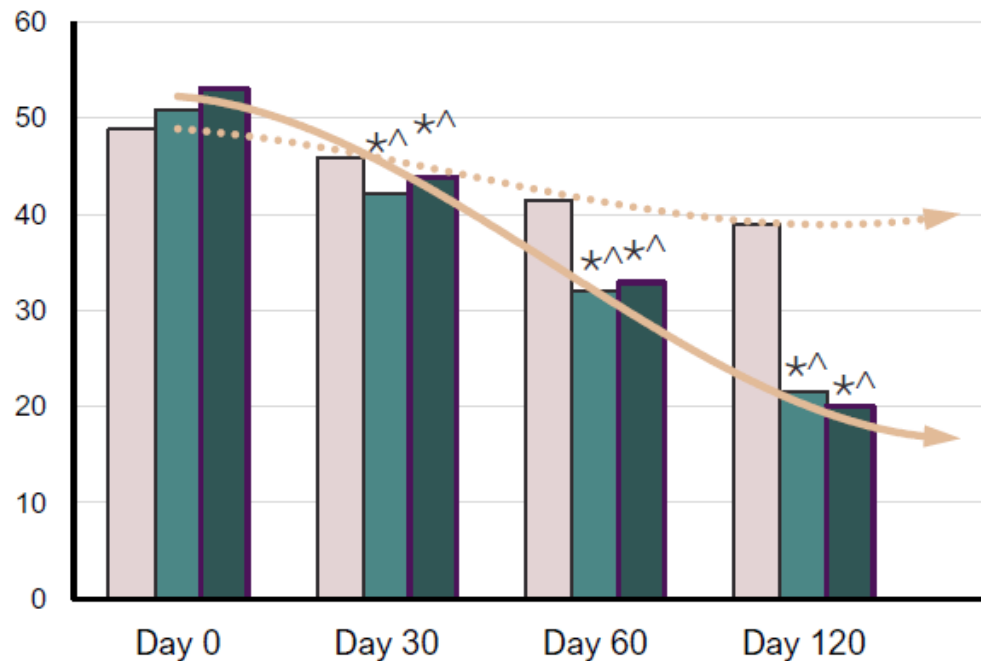
更年期には、エストロゲンの変動、インスリン抵抗性の増加、コルチゾールの上昇、などで不安やイライラ、うつ症状などが見られます。心理的症状の緩和効果については、摂取後30日後にXeya50mg摂取群・100mg摂取群ともに有意差が確認されており、100mg群では120日目までに**心理的症状が74.5%緩和**する事が確認されています。

③ 心理的症状

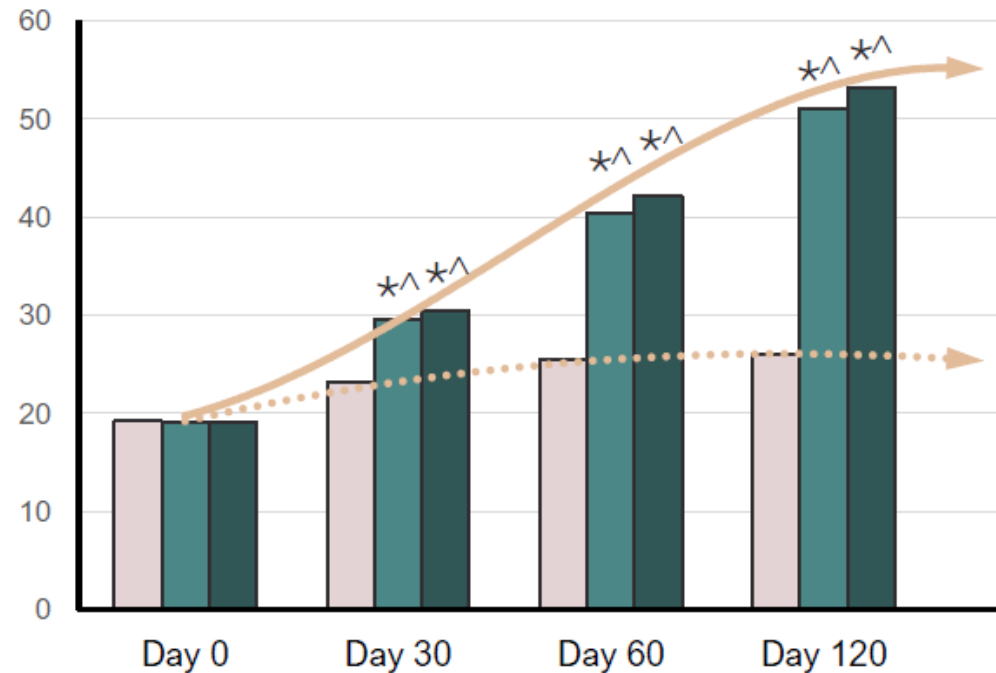


月経症状質問票 (MSQ)により、更年期障害の副作用の1つである**月経困難症に関する緩和効果**も確認されています。

④ 痙攣性月経困難症 (軽減度)
(※ 痙攣や疲労等)



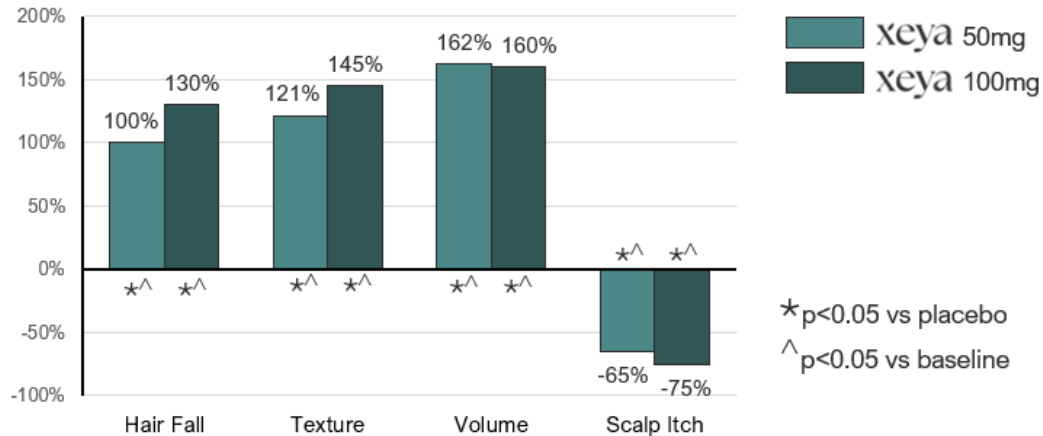
⑤ うっ血月経困難症 (改善度)
(※ 圧迫感や頭痛等)



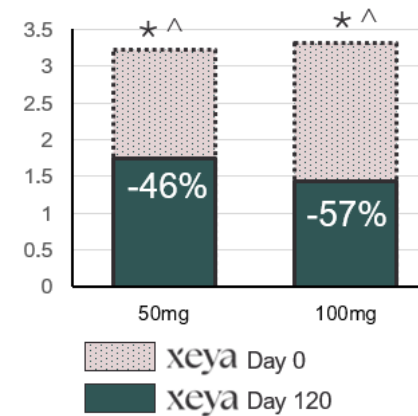
Placebo
 Xeya 50mg
 Xeya 100mg
 *p<0.05 vs placebo ^p<0.05 vs baseline

その他にも様々な更年期障害に伴う副作用を緩和する効果が確認されています。特に、閉経周辺期については、FSH（卵胞刺激ホルモン）、LH（黄体形成ホルモン）の上昇、エストラジオールの減少、が特徴であるが、こうした**ホルモンバランスの改善**も示しました。

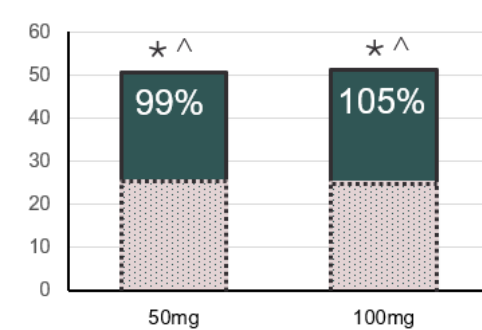
⑥ 髪質や髪量等



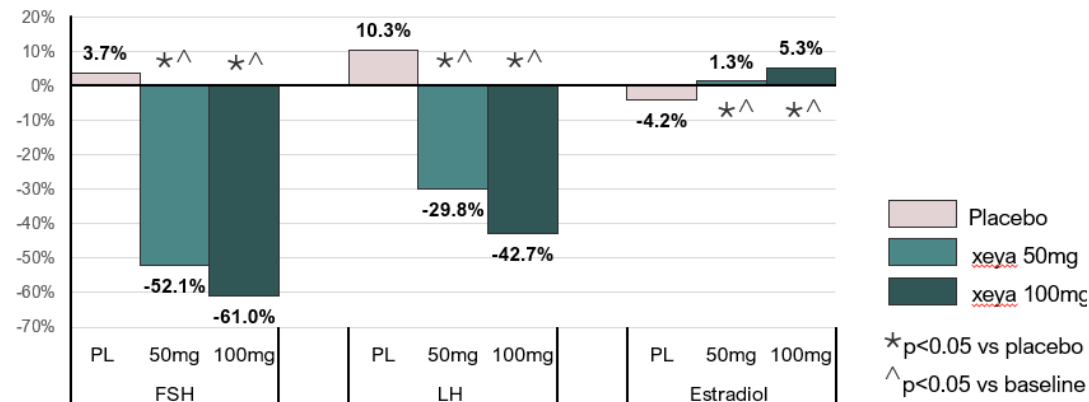
⑦ にきび



⑧ 皮膚



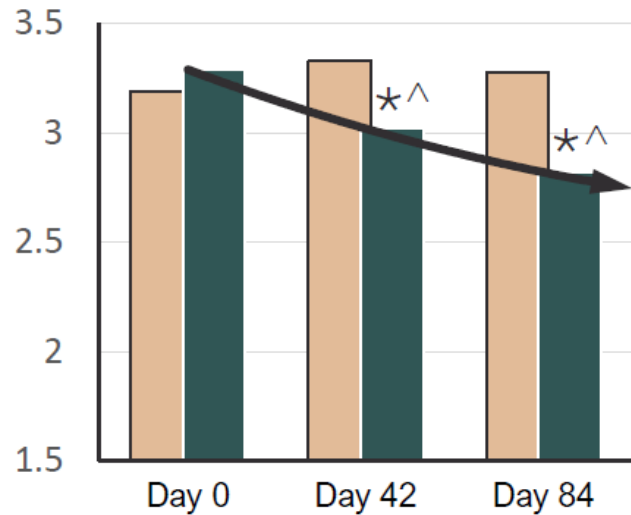
⑨ ホルモンバランス



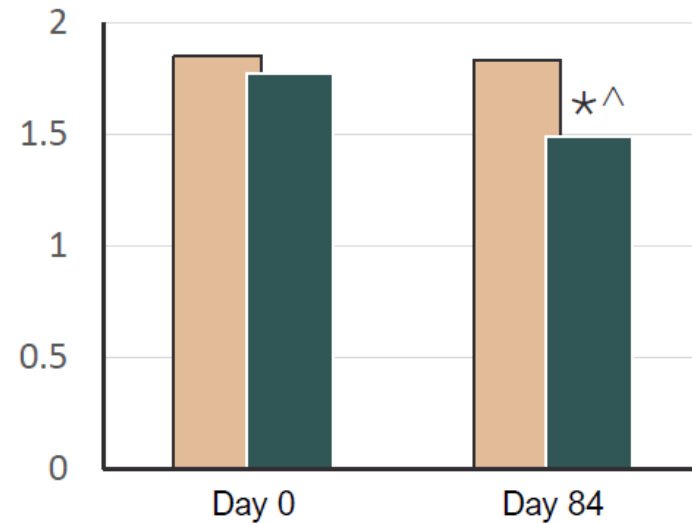
生理不順の最も多い原因と言われている多のう胞性卵巣症候群（PCOS）は、インスリン抵抗性、男性ホルモンであるテストステロンの過剰分泌、月経不順、などの症状を特徴とするホルモン異常疾患です。流産率を高めるとも言われています。

20-35歳の女性を対象に84日間のヒト臨床試験を2群（プラセボ群・Xeya100mg群）で実施し、**ホルモンバランスの乱れが改善**されました。インスリン抵抗性が改善し、総テストステロンが減少し、PCOS（多嚢胞性卵巣症候群）の2大要因が解決されました。

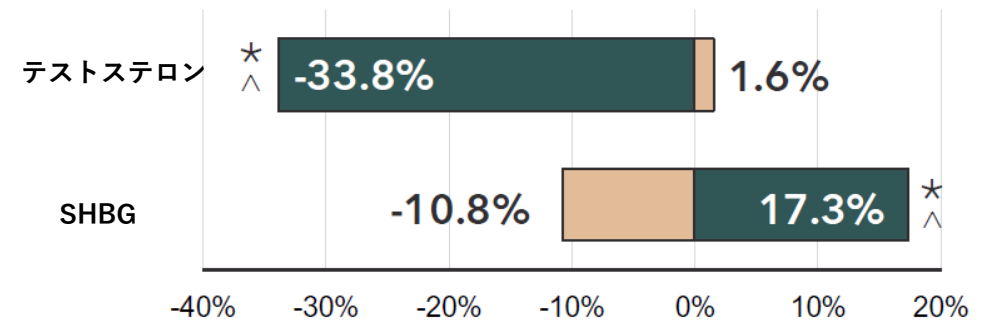
① HOMA（インスリン抵抗性）



② LH（黄体形成ホルモン）/FSH（卵胞刺激ホルモン）バランス



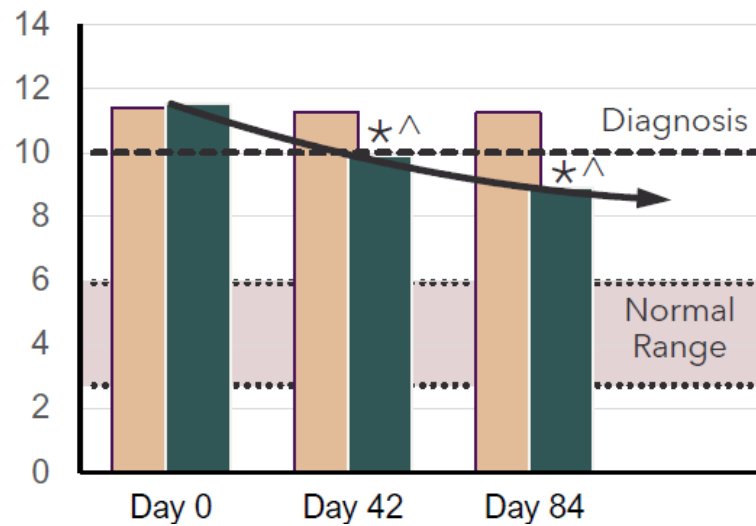
③ テストステロン減少及び性ホルモン結合グロブリン（SHBG）上昇による調整効果



Placebo
 Xeya 100mg
^{*}p<0.05 vs placebo [^]p<0.05 vs baseline

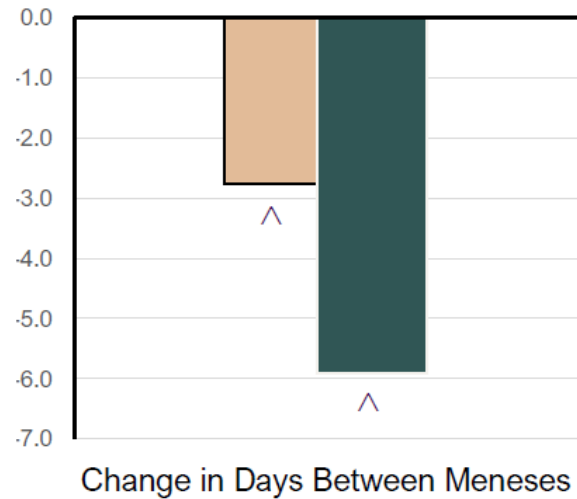
卵巣容積や卵胞数が有意に減少し、月経規則性についても改善されました。

④ 平均卵巣容積

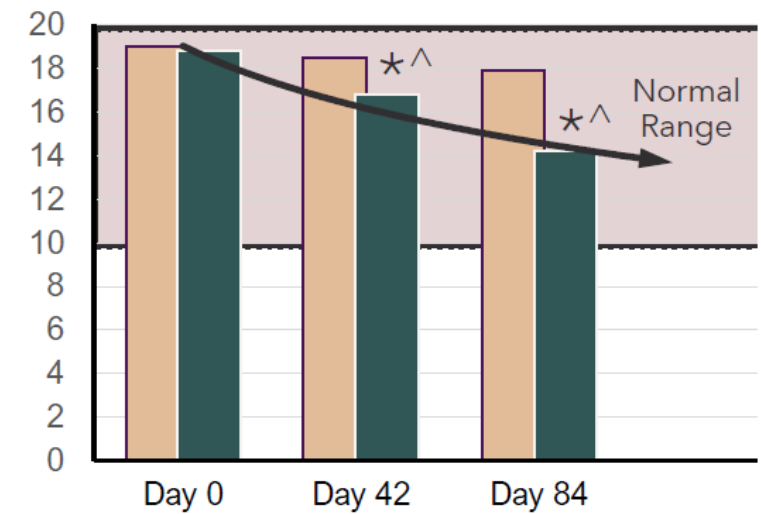


⑤ 月経規則性の改善

(ベースライン比較で連続する月経出血の間隔が短縮)



⑥ 卵胞数

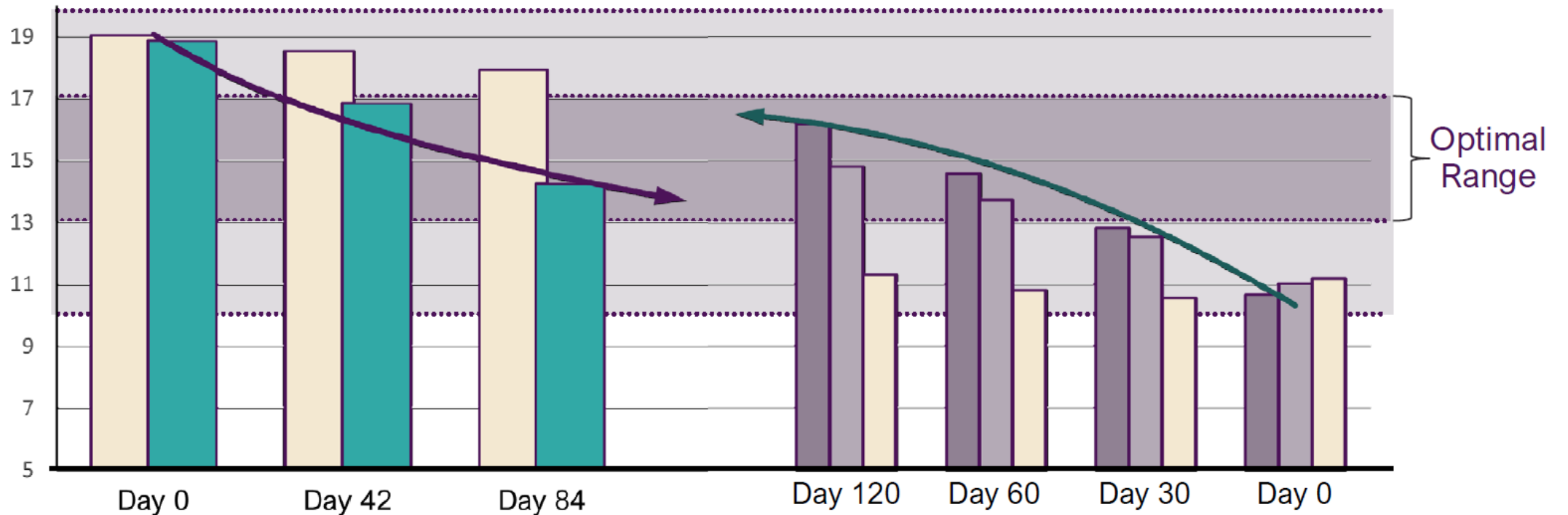


Placebo
 Xeya 100mg
 *p<0.05 vs placebo ^p<0.05 vs baseline

Xeyaの大きな特徴は無理やり一方向に押しやることなく、バランス自体を回復させることです。2つの研究において、卵胞数が多い場合は最適なレンジに抑制し、逆に少ない場合は最適なレンジまで押し上げる効果が確認されています。

1回目ヒト試験における卵胞数の推移

2回目ヒト試験における卵胞数の推移



最終商品での広告表現について、具体的な症状を記載することは難しいですが、下記のような表現であれば、医薬品的な効能効果などとみられる恐れが低いものと考えます。

- ・ ゆらぎ世代のハツラツさと美しさをサポートする
- ・ 40代からの女性のすこやかさをサポートする
- ・ 40代からの女性のすこやかさを保つ
- ・ 40代からの女性の健康を整える
- ・ 年齢とともに変化する女性のバランスをサポートする
- ・ 年齢とともに変わるバランスをすこやかにととのえる
- ・ エイジングが気になる女性の味方
- ・ 女性ならではのバランスサポートに
- ・ ゆらぎが気になってきた女性に
- ・ 女性特有のリズムに寄り添う
- ・ 女性特有の悩みが気になってきたあなたに
- ・ 40代からの女性のからだところどころのリズムをサポートする
- ・ なんとなく波のある毎日を、やさしくサポートする

Appendix

<p>口コモ :</p>	 <p>タマリンド種子/ウコン抽出物： 関節痛 ☆ PRISMA声明 (2020年) 準拠☆</p>
<p>オムテック :</p>	 <p>フェヌグreek種子抽出物： テストステロン産生/男性精力 (PDE-5阻害等)</p>
<p>抗老化/抗酸化 :</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;">  <p>ザクロ果皮/マリーゴールド抽出物： NAD+産生/CD38阻害等</p>  <p>シャタバリ抽出物： 女性更年期対策</p> </div> <div style="width: 35%; text-align: center;">  <p>シャンパーニュ産ぶどう種子抽出物： 抗酸化 (モノマー)</p> </div> </div>
<p>認知機能 :</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;">  <p>ガラングル抽出物： 集中力・注意力向上</p>  <p>アヒフラワーオイル： オメガ3・6・9 (ステアリドン酸)</p> </div> <div style="width: 35%; text-align: center;">  <p>ニシンオイル： オメガ11 (セトレイン酸)</p> </div> </div>
<p>その他 :</p>	 <p>ライム/カカオ抽出物： ダイエット・GLP-1活性</p>

Thank you so much for listening to us



© 2018 Mai Kurosaka